



財政史第五

校正
了
了



414
A1437
5



有翰

○女王アーン

○英國銀行ノ營業

○ロルトポーリングプローク氏ノ同銀行勘定及

○其效驗

○繼位之軍

○女王薨御ノ時ノ負債

○ジョーレンデ第一世

○南海ノ泡沫

○ジョーレンデ第一死去ノ時ノ負債

○ジョーレンデ第二

○宰相ロルボール

○ケットスキンの戦及ニ其入費

大正十一年四月
大隈侯爵邸

○征佛之戰

○レンキンブホント廣ノ始メテ試

○ヒューム氏ノ抗論

○ジョーレルデ第二ノ薨御

前章ニ於テ余ハ公債船既ニ艦装シテ帆ヲ上掉ス收メ
 遠ク將ニ洋中ニ向テ突セントスルノ景況ヲ述ベタリ
 此時人民ハ暗賤ニシテ船ノ突スルヲ知ラズ故ニ之ニ
 抗スルヲナク抗レテ驗有ベキノ大ニ重踵レテ之ヲ拒
 カズ政府ハ危急ニ際レテ是非トモ之ヲ施行スルヲ要
 スルヲ以テ女王アーンノ位ニ即ク頃ニハ紙幣ト公債
 ノ制ハ既ニ十分ニ英國ニ確立セリ良レヤ人此有害詭
 詔ノ規模ノ着破スルノ知識ヲ有スルモ此際之ニ抵抗
 スルノ威カヲ有スル事ナカルベレ其實ヲ言ハハ千六
 百八十八年^{主統}ノ變動スラ人民ハ全ク閑豫セザリ
 レナリウイグ黨ヲ助ケタム一二ノ熱中セル^{共和黨}共和黨^必
 非レ共和政^{名然}然^{主張}スルニ^外外ハ全ク貴族ガ莫不正
 得タル土地ヲ安全ニ保持セントノ意ニ出デタリ

歳首

セルニ百磅ノ同手形ヲ償却スルヲ諾セリ此ノ償与
トレテ政府ノ公債句ヲ其手中ニ擔任セラル此ニ於テ
是マテ出納司ニテ任スベキ總テノ事務ハ其店中ニ轉
移セリ斯ク政府ニ於テハ公債ノ累集スル際ニ女王ア
リシ死念セリ女王ノ死ト共ニトリノ黨ハ其暫時間得
タル權威ヲ失ヘリトリノ其權ヲ用ユルノ間ナカリ
レハ豈彼ノ為メニ歎ハレキトヤラスヤ實ニトリノ黨
及ビハイチヨールルケ黨ノ最モ著明ナル人ハ終始此有
害ナル公債法ニ抵抗セリ其尤モ高名ナル人ハロル
ポリーノングブローク^{位爵}ヘンリー、レント、ジョーン氏ナ
リ彼レ其コトヲトルランゼニリスヲマヒストク^トト題
セル弁ニ於テ左ノ如ク説キ下タセリ
何人カ千六百八十八年^即即位^ハル^ルニ於テ財文ノ

新法設立セリトテ前知スルモノゾヌ其後カ
ラズレテ公債ヲ抵当トシテ紙幣ヲ發行スルノ制起
リレトヲ知ンモノゾ此制大ニ條理ニ背反スト強モ
今ヤ此ヲ改ムベカラザル程ニ至レリ何人カ斯ク公
債ヲ作り租稅ヲ増スハ年々主權ヲ益レ隨テ氏權ヲ
減シ革命以前ヨリ陋劣ニシテ知ル者ゾ人共自
由ノ外形ヲ見テ自由ノ實際^体ノ損セムヲ知ラナルハ
何事ゾヤウイムム王ノ治世ノ始ヨリ其馭御ノ法拙
劣ニレテ今日吾人ノ恐惶スル總テノモノハ皆ナ無
知昧昧ノ效驗ニ非ラズ誤迷及ビ失錯ノ出来事ニ非
ラズ皆ナ此所ニ於テ統漸ノ任ニ當レルモノニ隱謀
密策ニ出テノ吾黨後人ハ彼ノ畫作セシ方策ノ現
ニ國ニ災害ヲ醸セシヲ目撃スルハ甚ダ好マレカラ

大歳首

スナリ然レトモ彼レ共計畫スル所ニ付テハ全ク
他ニ連累スル所ナレト思ヘリ人民ノ財宝ヲ一処ニ
置キ政府ニ助援セシムル是レナリ是レ則チ政府
ノ論チリ土地ノ利ト併行トシ幣ノ権カヲ維持シ新
ク三大社ヲ作りテ倫敦市中ニ全權ヲ握ラシム此則
チ他ノ用兵ノ論チリ我知ル公債証各ヲ作り紙幣ヲ
発シ或ヒハ仲商ノ好機ヲ得ルハ之ヲ畫作セシ人
ノ利ニ非ラズレテ此規模ヲ德德セシモノ、利トナ
リレトヲ彼レ等ハ其他ヲ知ラサルナリ然レモ我黨
其後ヲ受ケ其弊害ニ遭遇ス我不幸ト危難ヲ上ケカ
ルベシ

今マ閣下ヨ見ルベシ往時ヲ追懐スルニ歳入ノ大額
ヲ草ニ政府ノ出納ニ任レ官費ノ大数ノ草ニ宰相ノ

黜陟ニ委スノ害アルヲ自由ナル人ハ熱察スベ
キトヲ

閣下亦ヲ知ルベシ目ヲ終古及ビ萬國ニ轉スルニ國
計ノ腐爛ノ元ハ歳入ノ配賦ヲ政府一手ニ委スニ基
ヒレ自由ノ権ヲ損亡スルハ國計ノ腐爛ニ根スルナ
リ

以上ハボルソングブローノ氏ノスタデイヲフヒスト
リノ第二ノ卷第四十五半葉ニ記載スル所ナリ此卷ハ
革命ノ後ヲ未タ五十年ヲ經サル千七百三十五年ニ
記セラレタリ此卷及ヒ他ノ記者ノ説述スル所ニ因テ
當時國民自由ノ権ノ保護人ト唱誇シタル下院ハ利欲
ノ各風ヲ以テ糜爛セシメテ瞭知レ得ベキナリ
女王アーンノ矯逆ハ亦タ革命ノ災害ヲ播布シタル今

マ一ノ「バンド」ラノ箱ノ如シ希臘ノ一箱其國人其造不
其内々色ニ送ハレメトセリ贈ハ一箱ヲ以テ當時始
メテ國カ平均ヲ保護スルノ説英人ノ心裏ニ入レノ國
カ平均ノ語ハ蓋シトウチ王ヲ榮企ニシテ其本家ガ和
蘭ノ「スタ」トナルドニ總護官タルヲ以テ其國ヲ兒視
レ自ラ父祖スルニ榮セレヤ疑フ容レズ故ニ和蘭ノ盛
衰ニ関レテ英國ハ傍觀スル能ハサルナリ女王アーン
位ニ即クノ前既ニ「ワ」ルヲ「サ」クセフレヨシ前位ト移
スル連中ノ戦ヲ来タセリ其始メ千七百零一年頃ゼー
ムス二世死レ佛王ルイ十四世其遺子ヲ以テ英國
ノ王トシテ唱稱スルニ興レリ是事ヤレイスウイッキ
ノ平和ノ破約ナリ然レ氏改州諸國ガ同盟レテ佛ニ向
テ兵ヲ取ル原因ハ佛王ノ公孫セリフオニ以テカニイ

シノ王ト為レニ王國ヲ連合スルノ策ヲ始メ告スルニ起
レリ故ニ此事ニ抗テ英國ノ執權者ハ此連合ハ名ノミ
ニシテ其實ハ分裂スベシト推視レクニ此恐駭セサレ
ニ非ズ當時西ハ佛ト連合ヲ惡ムト甚タレクシテ情勢
決シテ一致スベシト想見シ難キ程ナリレナリ然レ氏
未ダ敢テ兵ヲ執テ之ヲ抗セサルヲ以テ英蘭及ビ日耳
曼ノ或州ハ佛蘭西及ビスペインニ向テ一致セリ而レ
テ同盟ノ兵マルボロ一及ヒ公子エーレマンノ將旗ノ
下ニ連勝レ遂ニ千七百十三年ウトレクトノ約定ヲ以
テ終レリ此大戦ノ費用ハ（總テ後世ノ同盟ト同様ニ）多
分ハ英國ノ拂フ所ニシテ此平和ノ約ハ好マレキモノ
ニ非ズ子孫ヲ與却レ紙幣ヲ以テ利子ノ拂フノ策ヲ用
テ軍糧兵食ヲ備ヘセレカバ即時ニ人民ニ感動セサリ

大歳首

シカドス國民ノ傲慢心大ニ增長レ當時ノ賢明ノ人ス
 ラ英國ハ他國ノ中裁人ニシテ政州ノ我欲專標ナル國
 々ノ不和ヲ理スヘキ上等裁判所自ラ想視セシメたり
 此愚ナル想像ヲ女王アーンノ末年トリ一黨ノ施行セ
 ルウケレフトノ約定ヲ以テ一時鎮定セフト虽モ騷擾
 ノ際ニ當テウイケ黨ノ氣烟熱中セシヲ以テロルドソ
 ーメル氏ノ賢亦タ此和約ヲ不滿トセリ
 ウケレツトノ和約ノ後々久シカラズ而テ千七百十四
 年女王アーン登遐セリ女王ノ治世ノ際公債ノ増殖セ
 レ債額ノ詳述スルハ識者ノ所說區々ナルヲ以テ甚タ
 難シトス蓋レトリ一ハ始メヨリ公債ノ制ヲ駁議シタ
 ルニ此際自ラ之ヲ増殖シタルマ疑ヲ究ムヲ要セズ何
 トヤレバアーンノ治久シカラズレテ其威權ヲ振ノ

期亦忽諸タルヲ以テ彼レ人民ヨリ徵收レヨリ寧ロ
 公債ヲ募ルヲ便トセリ故ニスワイットボリーング
 ローノ諸士ガロルドヲキスホルトハルレト氏ノ
 惡ハベキ先収財政ノ制ヲ受ケルノ制即チ公債ノ先ツ
 ニ染蝕セラレシヤヲ疑ヘリ次第一表ハ千七百十四年
 十二月三十一日女王死去ノ時ジョン・シンクレール氏
 ノ計表セルモノ、後輩ノ此表ニ於ルニ政府ニ於テ
 支給ヲ招集スルノ種々行猾ナル方法ノ中ニ頼母子公
 債モ亦タ此時始メテ起レリ

千七百十四年十二月三十一日公債ノ景况

永年公債	元金	利息
	磅司	磅司
	二、九四、〇七一	二、三八、六〇三
	三二	一八八

銀行 於テ出納司手ニ債券
 七八公債東印度公社ノ公債等

歳首

一時ノ公債					
賴母子公債	二六〇一七〇四二一三	四		一八六一三八四	四〇
証各キキ公債					
海陸軍ノ未済金及 其他ノ不足金	七〇三四二四九	二四	一〇	二〇一三六九	一九九
合計	五四四五六三	二四		三三五一三五八	三三

茲ニ千七百十四年ノ利足ハ千七百零一年ノ永久公債ノ高ト殆ント同一ニシテ負擔ノ總額ハ僅ニ十三年ノ間ニ四倍ノ大額ニ嵩ミレテ一見レ得ベキナリ

女五アールン死去ノ後ハイフルノエレクトル秉リテ五位ヲ嗣ク之ヲシヨールチ第一世ト為ヌ余レ其治世ノ間ヲ回視スルニ公債及ビ紙幣ノ制行ハレシヨリテ詐偽偏賣ノ露出セレトヲ見ルナリ此ノ賤シムベキ利欲心發生及ビ上等社会ノ際ニ於テ報國心ノ減少セシ

ハ其来ル甚ク遠シ宗門革命ニ因テ利ヲ混ル者ノ稟掠ニ起レリ長巴カ門ノ際其風俗大ニ萎靡シ王統復古ノ後貴顯ノ間大ニ嬌姿ノ俗ヲ来タセリ銀行創立ニ國民ノ名ヲ以テ公債ノ起リレヨリ民衆ノ内方レノ上位ニ居ルモノハ卑劣ノ俗ヲ来レ國氣漸ク衰ノ凋零ノ極ニシリ一ハ世ノ嬌傲及ビ其賤惡ナル巴カ門ノ時ヨリモ更ニ甚レキニ至レリ讀者見ルベシ公債証各及ビ紙幣ノ詐術ニ慣レ賴母子ハ饑渴政府ニ財ヲ募集スルノ良具トナリレ事ヲ其後政府諸賣ノ法ハ南海術策ト稱スル一規定ノ公立ニ因テ陰蔽セラレタノ此術策ハ偏詐狂氣ノ空高ヲ以テ其前後ノ時代ヲ蝕セリ即チ千七百二十年ノ比ニシテ文ニ南海ノ泡沫ト稱スル時ナリ尤南海商業会社ノ規模ハ千七百十二年ノ比ロルトメキ

スホルト ハーシー氏ノ経営セレ可ナリ當時ニ在
リテハ詐欺騙術未タ榮セザリレ蓋レ此汚辱ナル結構
ハ無算ナル政府ノ渴望ヨリ榮セシナリ今マ其履歴ヲ
簡單ニ記載スレ
租税ノ苛酷漸ク人民ノ私産ニ感衝レ次第ニ商業及ヒ
職業ヨリ生ズルハキ利潤ヲ減殺スルニ及ンデ人々自然
ニ一擧ニ巨財ヲ網羅スルノ計謀ヲ榮セリ革命政府ノ
百方賄賣ヲ役スマキ此氣漸ク榮蒸セリ終ニ此等ノ狂焰
ヲ制定スベキ持重会社トレテ頼ムベキモノニ遂ニ一
時ノ狂氣ニ沈溺シ猿シクモ空商ノ偏計ニ陥レリ政
府ニレテ此虚謀ヲ起セシテ人民如何ノ響應セザル
ト南海会社ノ規模ハ則チ當時洽ク通知セラレザル
西班牙領南亞墨利ト通商レ且フ南海ニ郵航スルル目的

ヲ以テ結構セ会社ナリ此会社ハ女王オクトーバニ始
メテ起業ス然レ氏千七百十九年以前ノ其營業ハ西班
牙王ノ許可ヲ得テ西班牙植民地ニ一二艘ノ船舶ヲ送
リテ通商スルニ止マレリ千七百十九年ニ至ルニ及ン
テ其取締役等曩日ニ此社空穴ノ際政府ニ願請レ低價
ノ割合ヲ以テ給附セラレタル年俸ノ政府ニ於テ償却
レ難キヲ請求セズ且ツ同様ノ員俸ヲ代辦シ其報トシ
テ通商ノ特許ヲ下付セラレントテ請ヘリ此時マデ銀
行ハ獨ノ特許ヲ擅セシニ之ヲ聞テ更ニ政府ノ愛顧ヲ
分取ムルモノアルヲ恐レ之ニ抵抗セシカドモ会社ノ
言フ知悉ニ政府ノ希望ニ所ナルヲ以テ内閣之ヲ許
可レ公布ヲ以テ其特權ヲ承諾セリ此公布ニハト一ノ
ト黨嚴ニ抵抗セリ且ツ當時老正ノ精神ト不屈ノ勇氣

大 裁 節

ヲ備エ屈指ノ人トシテ稱セラレタケハスナシクノ社
中カルキバドハフキソシ氏亦夕強ク之ニ抗セリ然
レ氏事終ニ行ハレズレテ南海会社ヲ許可スルニ至レ
リ其大綱ハ政府ノ公債ヲ償辦スルトキハ其資本ヲ増
スヲ得ベク公債ヲ減少若クハ償却スルノ目的ヲ以テ
資本ヲ募ルヲ得ベク償却未済ノ出納司手形ヲ買ヒ入
レ出納司若クハ其逕傍ニ於テ償辦セラハベキ請求次
第ノ新形ヲ發行スルヲ得ヘキトテテ千七百
十九年ノ耶蘇降誕ノ日ニ至テ百事竣切セリ而シテ其
政府ニ援助ヲ為ス多キヲ以テ其報トシテ通商ノ特權
ヲ許ハサレ其他種々枚擧スルヲ要セサル 願ヲ得タ
リ此條例議院ノ經過セレトキ此社中ノ株券一度ニ三
十一割九銖即チ百九分也ニ登レリ險冒射利ノ歎氣ハ忽

然トシテ奮躍シテ全國人心ニ染着セリ此時ニ於テ此
狂氣ニ迷ハゲルモノハ唯ハツキソシ氏及ビ其他一二
ノ人ノミ此輩能ク其靜謐ヲ失ハズ南海商社ノ經構過
失ヲ一トク免メテ氏庶ニ忠告シタリ然レ氏豈ニ能ク
擧世ノ狂夢ヲ醒覺スルヲ得ンヤ取締後詰所ニ於テ始
メテ其株ヲ賣ルニ三十割ヲ以テセリ二百二十五万磅
増加スルニ及ビ株券ノ市價頗ニ三十四割ニ登レリ温
良ニ之ヲ着手スルカ為メニ詰所於テ千七百二十年仲
夏ニ於テ拂フベキ半年ノ割賦金ヲ一割ト發言セリ且
ツ人ヲシテ其株ヲ保持セシムル為メニ貧乏ノ際ニハ
五十万磅ノ金額ヲ其株ノ抵当トシテ貸附クハ一ト許
ハセリ其後此金額ヲ百万磅トセリ此ノ粗暴ナル舉動
ハ大ニ人ノ信用ヲ得ルノ策ニシテ政府ニ於テ償却シ

大 歳 首

難キ年俸ヲ追テ確定スニキ割合ニ資本トシテ加入
スルヲ得ベシトノ廣告ヲ為スノ下ニ許多ノ年俸所持
人ハ其割合幾何ナルヲ未ク確知セズレテ南海商社ニ
附托スルニ至レリ其六月、至リ第一ノ半季利益配賦
ノ期近クニ及ンデ其狂癲ノ勢益々甚ク遂ニ八十九割
マデニ登貴セリ此浪蕩ノ極ニ至リ株券ノ賣人競争シ
其直段激然下落レ逆行ノ勢ニ漸ク現出セリ其時取締
役等勇進シテ更ニ各々一百磅ノ十回ノ加入ヲ以テ直
段百割ノ株券ヲ増スルヲ廣告セリ此暴挙再ビ其勢ヲ
挽回セレハ奇怪ト言フベシアランタルノ氏ノ言ニ曰
ク「一百磅ノ記入ハ一二日ニシテ四百磅ニ價セ
リト」
此事ヤ終ニ泡沫事件ノ最高點ノ景況ナリ而シテ其潮

流ヤ諸方ノ結社ノ上ニ感撞セリ銀行ノ株券ノ直段ハ
二十六割ニ上リ東印度会社ノ株券ハ四十割五厘
上レリ而シテ他ノ小泡沫、如キハ多クハ大泡沫ノ為
メニ吸尽セラレタリ此時ニ當テ各種ノ株券ノ公唱ノ
價ノ總計ハ五億スルノシテ而シテ此時團中ノ
土地家作等ノ全借地料ハ一億四千萬スルノシテ
リヤ故ニ其二倍ノ金額ヲ用ユルニ以テ此陰冒商業ニ
用ユル資金ノ額ニ至ラス仲夏ノ頃ニ至リテ狂癲ノ氣
漸ク萎靡シ疑惑ノ情疑テ發生シ小泡ハ先フ破ル此
ニ至リテ南海商社ノ社員ハ愚カニモ其計畫人ニ送ッ
テ廣告ヲ發シ其結構ハ計畫人ノ為ニ擾乱セラレシ
トヲ陳ベタリ此廣告ハ千七百二十年八月十三日ニ發
行シ此ヨリ同盟ノ者悉ク敵トナリ衰頹ノ形始メテ兆

幾
皆

一ノ南海商社ノ社員ハ絶望ノ極ニ達シ其耶蘇祭日
 ニ於テ三割ノ半季利益金ヲ拂ヒ十二年ノ間年々五割
 ノ利アルトテ保証セリ然レ此事既ニ遅レ二月三十日
 ニ發行スルノ賞トナレノ百方取締後ノ名譽ヲ挽回セ
 シガ為メニ畫策セシモ終ニ畫餅トナレノ然レテ其株
 價終ニ十七割五銖トナルニ及ンデ恐慌即チ荒レ經營
 ノ切全ノ地ニ墜テ数千ノ小泡皆ト共ニ其餘流ニ送テ
 滅ス英國銀行及ニ東印度会社ノ如キ大ニ感動セラレ
 タリ其災害ノ極ニ至リ公會ノ判裁ニ因テ追放罰金ノ
 処置ヲ以テ終レノ(租税頭アイスラビー氏モ其内ニ在
 リ)而レテ其資本ハ此時丹ビ公債ニ編入レ当今ニ至リ
 南海年俸ト称スルモノ此レナリ此ノ恐慌ニ感動シ
 一時國國ノ為メニ好ニスベキ結果ヲ生シ浪行ノ迷

漸ノ醒覺セリ

一ノ一七九七年ニ即位シ千七百二十七年
 年ニ死去セリ此時ノ同財政ノ事紀スベキ少シ繼位ノ
 戦ハ全歐洲ヲ吸尽セリ五ノ治世ノ始ノスウエーデン
 ノ葛藤スニインノ三年ノ軍事ノ外全ク平和ナリ此五
 治世ノ同公債ハ減少セズト強モ亦タ増益セズ財政ノ
 景况極ノテ着実ナリキウワルポーニ氏位ニ在リト強
 モ全權ヲ有セズ故ニ其公然ノ苞苴ハ未タ行ハレザル
 ナリジョーニ第一ノ死スルマ其負債ハ即位ノ時ヨ
 ノ少シク減少セリ然レ此水税ノ高ハ商業企望ノ例
 セレニ因テ救済税ノ額ヲ年々増殖スルニ至レリ是ニ
 於テ乎知ルベシ空商狂癲ノ害アリテ國ノ盛衰ニ関ス
 ルトク余後日紙幣ノ為メニ發出セシ然テノ変動ヲ見

歳首

聞スル際常ニ此実証ヲ回想レテ止マサルナリ能ク之
 ヲ推測セント欲セバ宜シク先ツ見んニ若レ國ノ通
 貨ノ價ニ低下ストキハ貧人益サニルニ救貧税ノ割合
 ハ増ヤニルニカフズ河シテ其購求スベキ物價
 悉ク登レバナリ其割合ハ通減ノ割合ヨリモ登ルトキ
 ハ必定人民ノ貧乏多キニ出ツルノ源由ニ帰セサルニ
 カラス

ジヨールゲニ世ハ千七百二十七年ニ王位ニ登レリ而
 シテ千七百三十九年ニ至ルマテ在位十二年ノ間國家
 無事ナリ此時ニ當テ宰相ロベルトウラールホルン氏其
 位ニ在リ賄賂公行始末百出以テ能ク下院ノ間ニ威權
 ヲ維持セリト雖モ其國人及ヒ外國ノ体面ニ於テ彼レ
 ノノ營譽ヲ毀挽セザルカ如シ然レ共實ニ至リテハ

彼國事ヲ序理スルノ間實ニ民庶ノ心思ノ實ニ後テ其
 國ノ自由ヲ湮滅セリ是レ實ニ公債ノ判行ハルノ國
 ニ於テ常ニ見ん然ナリ女王アーン及ヒ第一世シヨ
 ルギ登御ノ間風俗日ニ凌夷スルニ付テハ余レボリッ
 ンゴプロトク候ノ所説ニ就テ解明ノ的例ヲ見ルナリ
 其文左ノ如シ
 革命ノ後ノ即レハ及ヒ君位ハ全ク公會ニ屬シテ
 ンガ如ク見エタリ然レテ是コテ公務トシテ尊敬シタ
 ノレ公會ノ事務ハ其後一般ニ商業トナリタリ公會ノ
 商業及ビ公債ノ商業ハ實ニ一般ニ行ハレタリ前時職
 ニ居んモノハ其職務外ニ事ハ毫モ關係セザリシナリ
 公會數々バ集會シ其位格ヲ高ノ其尊敬ヲ増シメリシ
 今ハ全ク賤劣ヲ極メノ而シテ義務トシテ勤メタ

職
 節

リ時ノ気性ハ商業スルノ時ニ至リテ全ク尽キテ返ラ
ズ其間大英ノ憲法ヲ解スルモノ僅々ニ至レリ寺
院ノ権ハ久シク賤視セシメタリノ政府ノ権ハ久シク蔑
如セラレタリ兩者共ニ彼ノ商業トシテ出頭スル人負
ノ舉措ニ任セリ寺院ハ素ト神清潔白ニシテ其結構甚
タ巧ミナレ氏令ヤ政府ノ無益ナル負擔トナレリ王ニ
君權ノ羨ナク貴族ニ清華ノ獨立ナク下院ニ民政ノ自
由ナク一体ノ政府ハ名狀スベカラズル一種ノ怪物ト
ナレリ其時氣カノ剛毅ナルト及ビ投藝ノ漫羨ナレハ
全ク跡ヲ絶テ文字ハ大ニ生氣ヲ失エリ
橋逸儲侈々物品ハ瀟漫シテ改良セズ遊惰ノ俗因着シ
テ離間スベカラズ衰兆四起公私ノ總共ニ破解シテ文
字藝術全ク滅セリ

此貴重スベキ文章ハトリトリ黨ノ記スル所ナリ此黨
久シク振ハズ其名亦タ沈潜セレカトモ如此キ大文字
ノ數バ此黨ニ榮セシメテ以テ其名ヲ改漫スルニ至レリ
トサニールウラキソール氏ノ論鋒亦タ切ニ此事ニ直
論セリ彼ノ當時ノ記録ト稱スル著者ニ曰ク余レ一舉
相ノ許ニ任使セル一人ト友トシ善シ其人嘗テ曰ク余
ノ職務ノ一ハ一事件ノ起ルニ際シ下院ノ門前ニ佇立
シ其事ノ濟理セシトキ私クニ社負ニ金ヲ贈与スルト
ナリト爾レテウラキソール氏ノ説ノ所ハ強テ譏誚
ヲ以テ無実ヲ告グルニ非ナサルナリ數年前ニゲンボ
ルダレウゼウ新聞ノ記者之ヲ疑ヒ之ヲ嘲弄セリ然レ
氏余ハナナニール氏及ヒ報告人ノ言ニ所ニ於テ疑フ
ベキ一點アルヲ見ザルナリボーンダグローク氏

記載スル所ハ租税ノ重歛ガ風俗ヲ乱リシトテ言フテ
而シテ國國理財ノ促進セレトテ言ハシ蓋シ切迫ハ英
明ノ起源ナリ學術ノ欠乏セル時ニ於テ余ハ漸クソノ
振興ノ嫩芽ヲ茂セレテ見ルナリ
斯ク癸瓜ノ公然ニ行ハル、際ニ當テ其平和ナル宰相
ノ位ニ在レシニ関セズ西班牙ノ戦争終ニ矣セリ世ニ言
フ猫皮戰ト稱スルトナリ此軍争ハ素トウラハポール
ノ競敵其銅臭ノ名望ヲ殺キ人心ヲ背叛セシムルノ密
策ニ出テナリト言フ是ニ於テ予人心大ニ背キ彼レ其
位ニ在ル間ハ其國ノ名譽ヲ汚穢スルヲモ厭ハデ苟安
ク偷マント欲スルナリト想視スルニ至レリ此想視ノ
人心ニ深入スルヤ勢ヒ甚タ疾シ而レテ國ノ精氣ヲ保
テ軍争ヲ免センナリ勢ハ英島ノ四境ヲ塞グリ西班牙

人ハ英相ノ脆弱ナルヲ欺キノールカノ浅測ニ於テ毛
皮通商ノ為ニ注来セル英國ノ商船ヲ奪掠シ其水手
ヲ傷殺セル其中割ラレタル一水夫ノ英國ニ逃歸セル
モノアリ之ヲ下院ノ庭前ニ出シ之ヲ衆庶ニ示ス是ニ
於テ英國ノ人民ハ其沈着セル宰相ニ関セズ奮然西班牙
哥ニ向テ罪ヲ問フノ師ヲ起サントテ唱ヘリ當時ノ下
院甚タ賤劣ナリシモウオルポール氏ハ大ニ國債ヲ減
却セリ而レテ其他彼ノ所行ハ賞スベキ多カリテ千七
百三十九年猫皮ノ戦終スルニ及ンデ公債ノ存スルニ
ノ四千六百九十五万四千六百二十三磅三シルリシ
四ペンズ半ナリ(ジョンレンダール君ノ表ニ依ル)是
ヲ以テ之ヲ思フニジョーゲン一世ノ草創ノ時ニ比ス
ルニ五百万磅ノ高ヲ減少セリレンダール氏ハ其著述

七
歳
首

セハ財政史ニ於テ此ノ義舉ヲ稱スルニ寒言ヲ以テ又
ルハ過谷ト言フベシ其減少セシ高ハ全公債ノ殆んど
十分一ニ割合セリ而シテロベトウホルボーリル名ノ
賄賂ヲ公行セシハハノール室ヲ安全ニ保存セント
ノ深慮ニ出テタリト言ハシ其行ヒ亦タ世論ノ咎ムル
程ニモ非ラザルニシテ西班牙トノ軍争ハ漸次日身曼帝
室ノ継統ノ事ニ移リテ佛トノ軍事ト成ルリ此軍事方
ニ酣ナルノ際千七百四十五年ノ反黨起レリ然リ而シ
テ事ニハ全ク関係ナキホレリスウホルボーリルノ悔改
ヲ以テ鎮定セリ蓋シ此時佛ニ於テキヤールレス正
下ワルト英王ノ位ヲ得ルハ權ニ相当ノ援兵ヲ与エナ
バ恐ラクハスチエフルト室再ビ英王ノ統ニ入り國ノ
事務全ク改正シテ其景況前時ヨリ進ミタニシテ計リ

難シ軍兵ハ日身曼ヨリ呼込レタリエドワルトノ後者
甚タ少ナカリレガ英人モ亦タ抵抗スルモノ甚タ少シ
斯クテクハロキニニ於テ終ニ少許ノ民兵ノ為メニ撃
破セラレシカバ革命政府安寧ヲ保テリ此黨ハ大ニ財
政府ニ感衝レテ数年間之ヲ償却スル能ハザリキ當時
紙幣ノ害一般ニ治ネキヲ以テ反黨ノ野ヲ張ルニ當テ
三銖公債ハ其実八十九磅ナルホドマデ利足登貴セリ
若シ此時キヤールレスエドワルトヲレテデレビヨリ
倫敦ニ進ミレハルノ軍勢之ニ加ワリレニ當テマ公債
ヲ所持レ是ヲ以テ所有品ト認メタルモノハ其逃避レ
ガノキニ驚怖セリ此危疑ノ情数年間消失セズ千七百
四十八年アキス、ラーキヤペルノ講和成ルニ及シテ
民心始メテ安シ此九年間ノ軍争ハ其前年ノ諸軍ヨリ

費用多シ其多ヤ所以ハ前ニモ明解セシ如ク前年ノ公債ノ利子ガ軍事ニ用エシ諸品ノ直段ヲ騰貴セシムルガ為メニ後年ノ諸戦ハ是非トモ前年公債ノ割合ニ從テ費用多カシベシ此確証トセラ余ハ千七百三十九年軍事ノ始メニ比レテ其末年ニ至リテ殆ント二倍レ口ベルトワラルポー人君ノ節制ヲ空フセリ一ノ一例ヲ掲ゲベシ

其計算凡ノ如シ

磅司過

千七百四十八年三月三十日ノ公債元	七八二九三、三一三	一	一〇	三
利子	三〇六一〇、〇四二	一	四	三
千七百三十九年十二月三十一日ノ公債元	四六九五四、六二三	三	四	
利子	一九六四〇、二五一〇	一〇	〇	二
アイキム、エケヤフペルノ講和ハ七年間別繼キタリ此				

時ノ間々宰相ペルハム氏金利ノ落チタルニ乘ジ公債証券ヲ渡シ置キタル公債ヲ三百七十二万四千四百七十二磅一シルリンドハト四分ノ一ペンズ大ケ減却レ同時ニ残留セル公債ノ利息ヲ減殺セリ此方法ヲ以テ紙幣ヲ發行ハ或ハ従前之ニ於テ利益レモ之ニ依テ公債ヲ募リ得タリシモ却テ損失シタリ語ニ云フ河レノ災害モ純害ナラズ必ズ若干ノ善幸ヲ含蓄セザルモノナレト公債証券紙幣ノ制モ亦タ純害ナラザルヤ

千七百五十五年佛國トノ軍争破裂セリ此軍務ハジョーリルチ二世ノ治世ノ間全ク終ラザリキ其目的ハ當時英國王位ノ室蓋ノ一トナリタル亜墨利加殖民ノ守護ノ為メナリキ此殖民ノ功用性質ヲ知ルニ疎キ暗主及ヒ狂相ノ不賢ヨリレテ終ニ之ヲ失挽スルニ至レリ佛

國ノ人民ハ其武威ニ誇リ英國ヲ以テ勁敵ト見做レ決
シテマルボロ英國ノ人ニシテ戦争ニ於テノ為ニ
撃破セラレシヲ忘却セザルナリ之ニ復讐スルノ隱謀
ヲ以テ密カニローウカトヨリ使人ヲ聖ラウレン
ス大河ノ南東岸即チ当今オインノ地方ニ住居セル印
度人ニ遣同盟ノ大軍ヲ以テ不意ニ英國殖民ノ地ニ侵
入セリ其進ム処殘虐ヲ極メ抄掠至ラザルナレ殖民恐
レテ抵抗ノ策ヲ知ラス此報英國ニ達セルトキ佛及ビ
印度ノ同盟軍ハ既ニフヒラデルフヒヤ一百里ノ内
ニ進ムリ此時ニ至リテ軍事ハ避ノベカラザルナリ此
軍ハ非常ノ費用ヲルセノニシテ千七百六十二年マテ
引継キ公債ノ高クニ倍セリ其效績シヨールゲ三世ノ
暴虐有害ナル長治世ニ灼然ナル禍害ノ詳話トナルベ

レシヨールゲ二世ノ死去ヲ以テ余ハ此一篇ヲ結了ス
ベレ彼レ千七百六十年ニ死セリ其治世ハ二箇ノ財政
上ノ事件アリテ稱セラル第一ニロベルトウホルボ
ル君ノ策ニ依テ沈痾ヲ作ルニ是レイノ第二ニ有名ナ
ル俊士ダウイドヒム氏ノ公債ニ抵抗セル一卓論是レイ
リ千七百五十五年ニ出版セル「ハグリフ」ノクレジツト
ルノ章中ニ於テ最モ著明ニ且フ直接ニ公債ノ子孫ヲ
典却スルノ惡判タル「強論」且ツ此制ヨリレテ
將未必ズ苑生スベキ諸效績ヲ確然前言セリ「ウエ」ス
ラフ子レシヨールゲ記者アダムスミス氏ハ其親友ニシ
テ亦之ヲ助ケテ強論レタノ此前言ノ一ニハ今マ既
ニ感應セリ懐フニ此等ノ昏ヲ諒ム者ハ必然此ノ実效
ノ顯出スベキトアル「保証」スベシ

次キノ篇ニ於テ余ハジョーニゲ三世ノ残虐暗暝ナル
長治世ヲ説キ出スベレ且フ紙幣及ヒ公債ノ害洽子ノ
シテ社会ニ有益ナル諸事ヲ根ヨリ絶シタノレ証例ヲ
述グベレ余ハ全社会ノ面目一変シテ其支体分離シ英
人ノ性質ノ悻凌セシテ見ルナリ余ハ勉强ナル職人
ノ貧窶レテ或ハ罪禍ニ陥リ或ヒハ食衣ニ究レテ國ノ
富ハ猶太人金貸家代理人公債護督賣買人用達社中及
ヒ其他ノ敢冒商賈ノ手ニ落タレメタリレテ見ルナリ
余英國ニ於テ「ヨーマン」中ゼントリイノ次キノ民種ニ
ノ名入レテ消失レテ此貴族ノ長ノ跡ヲ絶ケレテ見ル
ナリ余ハ一様平均ニ富ノ配布ヲ幸福ノ潤ヒシ國ガ不
平謀及ノ民種ト化シ常備兵ノ為ニ僮カニ鎮壓セラ
ル、一及ヒ富人及ヒ貴族ノ諸処ニ屈起レテ平民ヲ奴

隸使スルヲ見ルナリ之ヲ約言スルニ公債ノ制ハ前時
ノ暴虐政治スラカ及バザル所ノ國風ノ變化ヲ未ダセ
リ而シテ自由公正ノ外面ニシテ闔國ノ徳品行及ヒ融
通ノ暢通ハ全ク過古ノ夢ト化レ尽レテ亦タ見ルベカ
ラナル者トナレリ

